

桑折町教育委員会社会教育主事 佐々木 四 郎

会教育行政基盤の整備充実、社会教育推進上の諸問題につ  
いて研究協議を行い、もって社会教育の進展に寄与する。

(4) 参 加 者

市町村社会教育主事 公民館主事

市町村社会教育課長

(2) 期日、会場、参加者数

(5) 内 容

- ① 本県社会教育の現状と課題
- ② 青年学級の拡充方策
- ③ 現在の青年教育の諸問題と青少年リーダーの育成
- ④ 公民館の設置と運営
- ⑤ 社会教育調査の理論と実際
- ⑥ 社会教育計画の作成とその手順
- ⑦ 福島県の近世史について
- ⑧ 演習、実技

期 日	教 育 事 務 所	会 場	参加者数
11月24日	県 北	岩 代 町 公 民 館	230名
9月7日	県 中	郡 山 市 公 会 堂	244名
9月8日	県 南	鮫 川 村 公 民 館	124名
8月25日	会 津	湯 川 村 公 民 館	164名
8月26日	南会津	南郷村開発総合センター	98名
10月19日	相 双	相 馬 市 民 会 館	258名
10月20日	いわき	いわき市文化センター	168名

(6) 研修会で作成した資料

昭和51年度市町村社会教育主事等研修会資料

### 3 社会教育委員研究協議会

(1) 趣 旨

社会教育をすすめるうえで、市町村社会教育委員の役割はきわめて重要であることにかんがみ、社会教育委員の任務および活動上の諸問題について研究協議を行い、もって本県社会教育の振興に資する。

(3) 講 師

福島県文化センター総務部長	丹 野 清 栄
福島大学教授	堀 口 知 明
国立社会教育研修所長	説 田 三 郎
宮城教育大学教授	江 馬 成 也
東北大学教授	塚 本 哲 人

(2) 主 催

福島県教育委員会 西郷村教育委員会 市町村社会教育委員連絡協議会

(4) 助 言 者

会場地市町村長	同教育委員会教育長
県社会教育課長	同主幹、同主任社会教育主事
教育事務所長	同社会教育主事

(3) 期日、会場、参加者

期 日 昭和51年7月20日～21日  
 会 場 楽山荘 西白河郡西郷村新甲子温泉  
 参加者 135名

(5) 参 加 者

市町村長、市町村議会議員、教育委員、社会教育委員、社会教育関係職員

(4) 参 加 対 象

- 市町村社会教育委員
- 市町村教育委員会職員

(6) 研 究 内 容

- ① 生がい教育の立場にたつ社会教育事業の推進について、
- ② 社会教育行政基盤の整備充実

(5) 講 師

群馬大学名誉教授 永 杉 喜 輔

### 5 社会教育指導員の設置

(6) 助 言 者

県教育庁社会教育課員  
 県教育庁県南教育事務所社会教育主事

(1) 趣 旨

市町村の指導組織の充実を図るため、市町村教育委員会の委嘱を受けた、社会教育の特定分野について、直接、指導、学習相談、社会教育団体の育成に当たる指導員設置のための経費の一部を補助する。

(7) 研究内容及び方法

- ① 講 演
  - 市町村社会教育行政の推進方策
  - 青少年教育を中心として ——
- ② 講 義
  - 本県社会教育の現状と課題
  - 県教育庁社会教育課長 佐 藤 利 三 郎
- ③ 分科会による研究協議
  - 第一分科会研究協議題
  - 青少年教育の振興計画
  - 第二分科会研究協議題
  - 成人教育の振興計画

(2) 補 助 金 の 額

補助対象経費の3分の2以内（1人につき月額34,000円を限度とする。）

(3) 設 置 数

教育事務所別	県 北	県 中	県 南	会 津	南会津	相 双	いわき	計
人 数	17	19	9	13	5	9	3	75

### 4 社会教育研究協議会

(1) 趣 旨

社会教育行政関係者及び市町村理事者の参加を得て、社

### 6 社会教育主事の市町村派遣

(1) 趣 旨

この制度は市町村が自ら社会教育行政の充実を図ろうとする意欲を尊重しつ、県が市町村行政を補完協力するため、